



## 『ロザリオの聖母の祝日』を迎えて

学院宗教主事 Sr.中本 敦子

爽やかな天候のもと、今年も金木犀の香りが待たれるときを迎えました。

さて、10月7日が桜の聖母学院にとって大切な日であることをご存じでしょうか。この日はロザリオの聖母をお祝いする日で、1640年、当時二十歳だったマルグリット・ブールジョワは、フランス・トロワの町で大勢の人々とロザリオ行列に参加していました。ノートルダム・オ・ノナン修道院の前を通りかかり、玄関の聖母像をふと見上げたとき、マルグリットは不思議な体験をします。

「私がこの聖母像を眺めたとき、ご像は突然、美しく輝いて見えました。その瞬間、私は感動のあまりわれを忘れ、もはや前の私ではなくなっていました。帰宅しますと、皆が私の変化に気づきました。」(手記より)

つまり10月7日は、マルグリットが聖母を通して神の恵みに触れることで、自分の生き方を大きく変えられた日です。愛の源である神とのこの出会いは、彼女を愛の行いへと導きました。その後マルグリットはトロワのノートルダム修道院の外部会員となって女子教育はじめ奉仕活動に携わり、そしてカナダに渡り、学校を開き、修道会を創立し、日本にシスター達が派遣され…と、現在の桜の聖母学院につながっていくのです。

ロザリオの聖母の祝日は、桜の聖母学院の原点の祝日とも言えるでしょう。

10月の毎週木曜日、3階ロビーホールでロザリオの祈りが行われ、大勢の子どもたちが自主的に参加します。家族のため、友達のため、世界のために捧げる子どもたちの祈りの声は、聖母マリアにとって美しい音楽のように聞こえることでしょう。子どもたちが、祈りを通して聖母と、マルグリットと、神様と出会い、誰かのために自分を差し出す生き方へと招かれますようにと願ってやみません。

## 「幼小こどもまつり」 ～9月20日(土)～ 担当 矢吹 路子

校舎建築に伴い例年通りの「学院祭」が実施できず、子どもたちには少し残念な気持ちが残るのではないかと、いう私たちの予想に反し、「楽しかった」「嬉しかった」の笑顔溢れる時間となりました。

保護者の方にたくさんのくじの景品とお菓子をご寄付いただいたので、とてもとても豪華な賞品を両手いっぱいを持ち満面の笑みで下校していきました。また当日まで何度も学校に足を運び準備をしてくださったクラス委員と工作ボランティアの保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。子どもたちにとって、「学院祭ではなく、こどもまつりになってしまった」のではなく、「友だちと一緒にどんな状況のもとでもその時できる最大限を皆で楽しむことができる」そんな時間だったように感じます。



スーパーボール 何個すくえるかな？



毎年好評の「工作コーナー」



## 第3回 3,4年 登山合宿 ～9月10日(水),11日(木)～ 4年担任 吉田 桜子

年度初めから楽しみにしていた登山合宿。子どもたちは心を弾ませながら出発しました。天気予報は、二日間とも雨。しかし、活動の時にはまるで太陽が応援してくれているかのように雲が切れ、青空が広がりました。

初日の吾妻小富士では、火口をぐるりと一周しました。足もとに広がる火山のごつごつした岩肌。そして目の前には一面に広がる雲海。「わあ、海みたい!」「雲の上を歩いているみたい!」と歓声を上げながら、一步一步を大切に踏みしめました。心地よい風を浴びながら、仲間と共に頑張った達成感を味わい、自然の雄大さを全身で感じ取っていました。

「鬼面山は…」「鬼面山よりも…」と、登山中に四年生がぼつりともらした言葉がありました。「本当は鬼面山に登りたかった」という思いが心の奥に残っていたのだと思います。その悔しさは、簡単に消えるものではありませんでしたが、それでも子どもたちは「今できることを楽しもう」と気持ちを切り替え、仲間と声をかけ合いながら歩みを進めました。その姿からは、たくましさや強さが感じられました。

子どもたちにとって、この二日間は予定通りではなかったかもしれませんが、仲間と一緒に登り、学び、笑い合う時間の一つひとつが、かけがえのない思い出となったことは間違いありません。前向きに挑んだ子どもたちの姿勢や仲間との絆は、何にも代えがたい成果です。悔しさを力に変え、自分たちの力で合宿をやり遂げた経験は、必ずこれからの成長の糧となっていくことと思います。



## 「聖母高 吹奏楽部による演奏会」 9月29日(月) 音楽科 古山 歩希

私が兼務しております桜の聖母学院高等学校吹奏楽部の生徒たちによる演奏会を小学校講堂で開催しました。

普段、耳にすることが少ない迫力ある高校生の生演奏に小学生の子どもたちは目を輝かせ、知っている曲では口ずさんだり体をゆらしたりと、大変楽しんでいる様子でした。曲目は子どもたちに親しみのあるものをはじめとして構成し、会場全体が音楽に包まれました。また、小学校の校歌を吹奏楽部の演奏に合わせて全校生で歌いました。子どもたちは豊かな演奏に包まれながら、元気いっぱいに、そして生き生きとした声で歌いあげていました。

音楽を通して心が動く体験を、子どもたちと共有できたことをうれしく思います。

## 「なし園・選果場見学～3年 社会科～」 9月16日(火) 社会科 定方 一悦

最初に庭坂にある紺野果樹園に行きました。なし畑では、梨の育て方や種類についての話をうかがい、子どもたちの質問にも丁寧に答えていただきました。その後、一人1つずつ梨狩りをしました。頭上にたわわに実る梨の中から、どの梨をとろうかじっくり選び、ゆっくり持ち上げて上にひっぱると、梨はきれいに枝から離れました。どの子も満面の笑顔になって、梨を手にしていました。取った梨は二十世紀という種類で、まだ袋がかかっていた。次に、選果場に行きました。近隣の梨はすべてここに集まってきます。一つひとつまるいトレイに乗せられた梨が、一列になって光センサーの箱をくぐっていきました。光を当てるだけで、大きさや甘さ、かたさなどが一瞬にして分かるそうです。子どもたちは、目を丸くして箱詰めされて流れていく梨と積み上がった箱を見ていました。天候にも恵まれて、学習したことを実際に確かめることができたよい見学学習となりました。



見つけた! 大きな「なし」

### 休校のお知らせ

⇒10月10日(金)は「北海道・東北地区私立小学校教員研修会」(会津若松ザベリオ学園小学校にて)のため休校となります。

確認: 制服移行期間⇒10/18(土)までです。

天候や体調に合わせてご家庭の判断で着用させて下さい。

私学振興大会の請願陳情署名の提出について

⇒締め切り日は10月21日(火)です。ご協力をお願いします。

### ★★★おめでとうございます★★★

●「福島地区小・中学校理科研究作品展」

・金賞・・・5年  
6年

●「明るい選挙啓発ポスターコンクール」  
(福島市 審査会 小学生の部)

・優秀賞・・・6年